

第2回高校入試説明会 Q&A

Q. 理事長渡邊のお話しに賛同しますが、息子がそう思えるか、ついていけるか心配です。そんな生徒でもおいていかずにその都度指導くださいますか？

A. 入学されたお子様に対しては、本校の教員がどこまでも寄り添いサポートいたします。

Q. なかなか経験できないカンボジア研修は希望者のみですか？費用はいくらかりますか？

A. カンボジアツアーへの参加は毎年希望者のみで、25名ほどを予定しています。

費用は、23万円ほどですが、為替レートにより変動することもあります。

Q. 人として育ててくれる貴校への入学を希望しますが、経済的に余裕がないため、お聞きします。共学となるための寄付金とかは募られますか？

A. 本校では寄付金は一切募っておりません。

Q. 大学進学のために現在生徒さんは、塾へ併行して通っている率は高いですか？

A. 高校2年頃から通い始める生徒もいますが、多くはありません。放課後の講習へ参加する生徒や、教室に残って自習をし、教員に質問をしながら勉強をしている生徒が多いようです。

Q. 理事長と生徒たちが講演方式以外で対話できる機会は合宿以外でもありますか？

A. 私は週に1回は学校にきていますし、そのときには全てのクラスの授業を見に行っています。また、休み時間に廊下ですれ違う生徒が気軽に声をかけてくれることもあります。

Q. 過去にニュージーランドへ留学した生徒の中で、学校に合わず不登校になる生徒はいませんでしたか？

A. 今年でニュージーランドへの留学は3期生となりますが、今までに不登校になった生徒はおりません。また、留学中にクラス担任が1ヶ月をかけて家庭訪問をしますし、時差も3時間なので、メールや電話で相談を受けています。

Q. 郁文館において、現在不登校の生徒はいますか？もしいるなら、どのような対応を取っていますか？また、いないようであれば、不登校の生徒が出た場合、対処するシステムはありますか？

A. 不登校の生徒はおります。その生徒に対しては、クラス担任がこまめに連絡を取ったり、時には家庭訪問をしています。また、本校のカウンセラーに面談をした上で、適切なアドバイスを与え、改善に向け様々な取り組みを行っています。

Q. 夢合宿では、女子も男子と同じことをするのでしょうか？（高さ7mの棒からのダイブ等）

A. 基本的には全て同じプログラムです。高さ7メートルの棒からのダイブも安全対策は万全ですので心配はいりません。また、命綱をささえる生徒たちにも大切な経験をさせています。

Q. これから郁文館の野球部を強くするために取り組むことなどがあれば、教えて頂きたいと思います。
A. 来年度より、高校ではスポーツ推薦の生徒を数名受け入れます。この生徒たちが中心となり、高島平にある志村グラウンドの練習でレベルアップをはかっています。

Q. 3年前、中学の説明会の際に理事長講演を拝聴しました。そのときには数年後に東大合格者は20人(?)にするというように目標をセットアップされていました。今はそういう具体的な目標を明示されていません。大学だけがすべてでないことはわかりますが、よりハイレベルな教育、進学についてのゴールは下げられたのですか？それとも、実際に進めていく中で軌道修正があったのでしょうか？

A. 現在は東大20名ではなく、国公立大学30名という目標をたてています。ただ、東大は一般的に入りたい大学かもしれませんが、全ての生徒にとって一番の大学とは限りません。本校では、生徒一人一人の夢を達成できるための進学指導を行っています。

Q. 私が子供に対して願うことを理事長が熱く語っておられ、ぜひ貴校へ我が子をお預けしたい気持ちで一杯です。現在、我が子は9月より不登校で親としては心を痛めております。息子の心に向き合う努力をしております。最近、夢を語るようになり、その夢の第一歩がグローバル高校への入学であり、留学です。当然、中学で成績が出ないと思います。そのような息子でも入学は可能でしょうか？

A. 中学時代に不登校であっても、入学試験の受験をお断りすることはありませんし、それが合否に関わることはありません。お子さんが入学試験に合格し本校に入学後、夢のために学校へ通えるようになることを願っています。

Q. 学校生活を終えて長い時間が経ちますが、古典、美術等に触れたり、見たりする機会は貴重であり、特に古典は音読を何度もして覚えたことが今頃になって効用があるのだと気づくものです。日本が千年余りの歴史の中で蓄積してきた古典を子供たちに少しでも共有できる機会があればよいと思いますが、いかがでしょうか？

A. 高校での3年間、古典の授業はあります。また、高校1年次の芸術の授業や、中学1年から高校2年までの芸術鑑賞に於いても美術に限らず本物の芸術にふれる機会を与えています。

Q. カンボジアツアーや夢合宿へは、グローバル高校入学時でも体験することは出来るのでしょうか？

A. 今回のビデオの中にもグローバルの生徒（現3年生）がいました。留学から帰国するのが12月ですので、2年次の終わりの3月に参加することが出来ます。また、夢合宿への参加は、日本にいる1年次と3年次に参加をします。

Q. ようやく理想の学校に出会えたという気持ちでいっぱいです。是非とも入学を希望しますが、成績が今ひとつ伸びません。合格判断はやはりテストの結果重視なのでしょうか？お話しの中にあった、人間性や性格の良さなども考慮していただけるとありがたいです。

A. 基本的には学力考査の結果で判断をしますが、本校では面接試験も行っておりますので、その結果も審議の対象となります。

Q. 夢という軸をぶらさずに学園運営を続けていくことは本当に大変なことだと思います。理事長ご自身は、教員の皆様にその軸を伝えるためにどのような工夫をしておられますか？

A. 理事会や職員会議で、折に触れて理念を確認するための講話を行うほか、私の著書や折々の文章を読んでもらい、感想文や意見書を書き、私と対話することで理念の浸透が図れるようにしています。

Q. 「教育の目的は子どもたちの幸福である」との教育理念に大変共感いたしました。そのために前段階として「生活習慣」「人格を育むこと」の大切さのお話がありました。その二点において、とくにこれから取り組まれる女子教育について、新しい学校運営の具体的な計画、方針がお決まりでしたら、是非教えてください。

A. 基本的に「生活習慣」「人格形成」において、男女に違いはないと思っていますが、個別の指導の場において女子に対して留意すべき事は事前に想定し、対策を講じています。

Q. (※質問ではなく要望) 理事長のお話、夫婦で聞かせていただきました。ありがとうございました。本人は明日が英検の2次試験、来週が期末テストのために来られませんでした。そこでお願いがございます。本日見せていただいたVTRを全て12/5(土)の説明会でも必ず流していただきたいと思います。「本人の目」で見て、たくさんのことを感じ取り、そして決意を新たにして欲しいので。よろしくお願いします。

A. 本日のビデオは、本校のホームページにアップします。そちらをご覧ください。

次回、12月5日の説明会では、別のビデオをご覧ください。予定です。